令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計		事務事業分類		A 一般事務事業	
事務事業名		障害者団体助成		事業番号	
担当部署名		健康福祉 局 障害福祉 部		011-113	
		障害福祉 部		障害施策推進 課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(5) 障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現	
		有	取組の方向性	③障害者の社会参加の促進				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(10)人や国の不平等をなくそう	ターゲット	10.2	
		有	取組	障害者児及びその家族に対する支援				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—		

2	関連計画	
3	事業開始年度	平成 20 年度
		点検年度
		令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 (略称：障害者総合支援法) 堺市障害者団体社会参加促進事業補助金交付要綱
事業の概要		
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	特定非営利活動法人堺障害者団体連合会
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	研修参加や社会見学を通じて、障害者団体や障害者、その家族の交流や資質向上を図るとともに、社会参加を促進する。
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	特定非営利活動法人堺障害者団体連合会に加入している障害者団体が開催・参加する研修会等に必要なバス借上料を補助する。 ※令和3年度からは障害者の社会参加をより幅広く促進するため、バス借上げだけでなく、研修会開催や参加にかかる費用なども対象に事業内容を見直し、補助対象経費を拡大したうえで補助率を1/2としている。
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	特定非営利活動法人堺障害者団体連合会
10	公民連携・協働事業	

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績		目標	目標
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	点検年度
11 参加者数	人	目標値	-	1,431	600	600
		実績値	1,223	209		
		達成率	-	15%		
当該指標を選定した理由		補助があることにより行われた研修会等への参加者数増が、障害者団体の社会参加促進の指標になると考えられるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		目標…補助対象が変更となったため、1研修会に20名参加の見込で設定。(R2年度バス利用者数平均)				
12 活動指標(成果を上げるための手段)	台	実績	実績		目標	
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	55	55	30	
		実績値	47	10		
	達成率	85%	18%			
当該指標を選定した理由		補助件数を増やすことが、障害者の社会参加の機会を増やすことに直結するため。				
目標値の設定根拠・算出方法		前年度実績に基づき、毎年度協議(補助上限額から積算)				

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	障害者団体助成	事業番号	011-113
-------	---------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	6,048	4,818	5,638	1,025	3,000
13 財源内訳	国支出金				
	府支出金				
	市債				
	その他 ()				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	6,048	4,818	5,638	1,025	3,000
14 人件費 (b)	820	810	820	820	820
15 年間経費(c)=(a)+(b)	6,868	5,628	6,458	1,845	3,820

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源
		R3 予算	3,000	3,000	R3 予算		
		R2 決算			R2 決算		
		R3 予算			R3 予算		
		R2 決算			R2 決算		
		R3 予算			R3 予算		
		R2 決算			R2 決算		
		R3 予算			R3 予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
① 補助台数 (令和3年度からは補助件数)	台・件	47	10
② 上記①にかかる年間経費	千円	5,628	1,845
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	119,745	184,500
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>新型コロナウイルス感染症拡大により、バスによる社会参加の機会が減少したところ、補助金事務にかかる人件費は一定であるため費用対効果が悪化している。</p> <p>令和3年度からはバスを借り上げて行うもの以外の社会参加事業（研修会の開催など）に費用助成対象を拡充することから、費用対効果は上がると見込まれる。</p>
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	<p>コロナ禍ではあるが障害者団体の社会参加事業に対して一定の補助を行うことができた（補助台数10台、延べ参加者数209名）。</p> <p>外に出ることが困難な障害者にとって、当該補助金を活用して、社会見学・体験学習、各スポーツ大会への参加することなどが、障害者及び支援者相互の親睦を深めることができ、障害者の社会参加に寄与している。また、研修会や講演会への参加は障害者団体役員の資質向上にもつながっていることで、堺市基本計画2025及び堺市SDGs未来都市計画に掲げる取組の方向性に対して寄与した。</p>
----	---